



平素は当センターの活動につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。新年度がスタートして2カ月が経過し、生活にも慣れてきて楽しく活動する姿が見られています。天気の変り変わりが多いこの時期、体調管理に気をつけながら過ごしていきましょう。これからの時期に特有の感染症もありますので、予防対策を徹底しつつ、安心して生活できる環境作りをしていきたいと思っております。



熱中症に注意しましょう

熱中症

熱中症とは、暑さによって体温が上昇し、身体の調節機能が追いつかなくなってしまう状態のことです。



熱中症を予防しよう！



熱中症の主な症状

軽症



めまい、立ちくらみ、汗が止まらない、こむら返りなど

中等症



頭痛、吐き気、体がだるい、ぼーっとするなど

重症



意識がない、真っすぐ歩けない、けいれん、体が熱いなど

これからの季節に流行る感染症

3大夏かぜの症状

プール熱



- ・のどの痛み
- ・目の充血・かゆみ
- ・40℃近い高熱
- ・関節痛・頭痛・腹痛も

手足口病



- ・手足に水ぶくれ
- ・口内に糊膜炎又は口内炎
- ・高くても38℃程度の発熱

ヘルパンギーナ



- ・突然の39℃前後の発熱
- ・口の中の水疱
- ・のどの痛み・嘔吐・腹痛

現在、流行している気をつけたい感染症

伝染性紅斑(リンゴ病)

はじめは風邪のような症状(発熱・倦怠感・鼻水など)が出現します。その後、頬が赤くなったり、手足に網目状の紅い発疹がでます。発疹が出る1週間前が感染しやすい時期になります。妊婦さんがかかると胎児に影響することがあります。



百日咳

特徴的な咳(コンコンと咳き込んだ後、ヒューという笛を吹くような音を立てて息を吸う)が長期に続きます。夜間、眠れないほどの咳がみられ、咳とともに嘔吐することもあります。発熱することは少ないです。抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまでは感染しやすい時期です。ワクチンで予防ができます。



再度ご協力をお願いします☆

- 「発熱、頭痛、倦怠感、咳、鼻水、のどの痛み、下痢、関節痛」等の症状がある場合は、早めに医療機関を受診してください。また、受診結果をお知らせください。
 - 風邪症状の出現時はできるだけお家でゆっくりしましょう。利用中に発熱がない場合でも、咳・鼻水の症状が目立つようであれば連絡を入れさせていただきます。
 - ご家族がコロナウイルス等の感染症に罹患された場合、センター職員にその旨をお知らせください。各ご家庭での感染対策をお願い致します。
 - 幼稚園・学校等が学校・学級閉鎖となった場合、ご本人に症状がなくても利用を控えてください。
- *ご不便をお掛け致しますが、感染症拡大防止の取組についてご理解、ご協力を賜りますよう再度、お願い申し上げます。

ハンドソープの詰め替えどうやっていますか？

- ハンドソープの継ぎ足しが良くない理由
→手洗い場などの水回りは、湿った場所を好む緑膿菌やセラチア菌が繁殖しやすい。
※容器の洗浄、乾燥不足、継ぎ足し時に細菌が混入しやすい。

☆ハンドソープの詰め替え時は、ボトルとポンプを水洗いして、

しっかりと乾燥させてから詰め替えましょう。